

# ⚠ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する



### 警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### ⚠ 危険

注意を促す記号



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

#### ⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

#### ⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電や他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

## ⚠ 注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたことがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない



上記のような場所に置くと、故障の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、故障の原因となることがあります。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。そのままコンピュータに接続すると、コンピュータの故障の原因になることがあります。



### 内部を開けない

内部の点検、修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



### 直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。



## 電池についての安全上の注意

### 液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

単4形

#### ⚠ 危険

##### 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因となることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

#### ⚠ 警告

- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

#### ⚠ 注意

- 火のそばや直射日光のあるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac、MacOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- Power PC®は、米国IBM Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本書ではMicrosoft Windows XP Home EditionおよびMicrosoft Windows XP ProfessionalをWindows XPと記載しています。
- 本書ではMicrosoft Windows 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書ではMicrosoft Windows Millennium EditionをWindows Meと記載しています。
- 本書ではMicrosoft Windows 98 Second EditionをWindows 98SEと記載しています。

#### ⚠ 危険

##### 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因となることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

## 使用上のご注意

### 使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

### 操作について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。

### 異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

### それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではマウスの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

### お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには ⇒ コンピュータ関連  
アクセサリーカスタマーサポートへ  
<http://www.sony.co.jp/support/pc-acc/>

マウスに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとの回答をご案内しています。

電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ お客様ご相談センターへ(下記ナビダイヤル・FAX番号)

本機の商品カテゴリは「オーディオ商品」-[ラジオ・ラジカセなどの小型オーディオ]です。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

型名 : SMU-WR1

ご相談内容 : できるだけ詳しく

お買い上げ年月日

ご使用のパソコンの環境

- ご使用のパソコンの機種名

- メモリー容量

- ハードディスクなどの容量

- OSの種類

### ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

#### お客様ご相談センター

●ナビダイヤル ..... 0570-00-3311  
(全国どこでも市内通話料でご利用いただけます)

●携帯電話・PHSでのご利用 03-5448-3311  
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

●FAX ..... 0466-31-2595  
受付時間 : 月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00  
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

\* マウスを受信ユニットに置く方法で使用した場合の目安です。  
使用状況によって異なります。

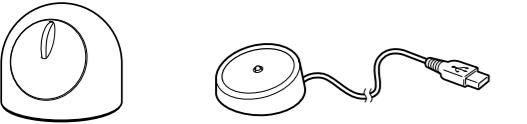
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

インターフェイス	デスクトップコンピュータ : USB端子、PS/2端子(接続変換アダプター使用時) ノートブックコンピュータ : USB端子
コネクタ	USBプラグ
分解能	PS/2(変換アダプター) 800 counts/inch
送信周波数	27.045MHz
電界強度	500 μV/m
到達距離	約1m (この距離は、およそその目安であり受信環境により短くなる場合があります。)
電源	単4形アルカリ乾電池x2
対応機種	- USB A端子またはPS/2端子付きデスクトップパソコン - USB A端子付きノートブックパソコン - IBM PC/AT互換機(CPUは奔騰アチャム相当以上) - Apple製パソコン(CPUはPower PC G3/G4 350MHz以上) - OSプリントストールのパソコン(自作パソコンおよびOSアップグレードパソコンは動作保証されません。) - Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition、Windows 98 Second Edition (上記以外のOSではご使用になれます。) - Mac OS 9.1以降(Mac OS 9.xは、1ポートの対応となります。)
対応OS	5 ~ 35 (温度勾配10 /時以下) 20 % ~ 80 % (結露のないこと) ただし35 における湿度は65 %以下(湿度29 以下)
コード	約1.5 m
動作温度	5 ~ 35 (温度勾配10 /時以下)
動作湿度	20 % ~ 80 % (結露のないこと)
保存温度	-10 ~ 60 (温度勾配10 /時以下)
保存湿度	10 % ~ 90 % (結露のないこと)
外形寸法	64 × 54 mm(直径 × 高さ) 64 × 27 mm(受信ユニット)
質量	マウス本体 85 g(電池含む) 受信ユニット 55 g(コード部含む)
電池持続時間	約1.5ヶ月(一般使用時)
付属品	(単4形アルカリ乾電池使用) 受信ユニット(1)、接続変換アダプター(USB→PS/2)(1)、単4形乾電池(お試し用)(2)、取扱説明書(1)、保証書(1)

## 本体 / 付属品を確かめる

本機をお使いになる前に、すべてそろっているか確かめてください。不足しているものがありましたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにご連絡ください。

マウス SMU-WR1(1) 受信ユニット(1)



接続変換アダプター(USB→PS/2)(デスクトップコンピュータ用)(1)



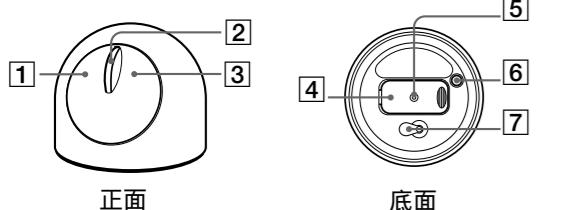
単4形乾電池(お試し用)(2)

取扱説明書(1)

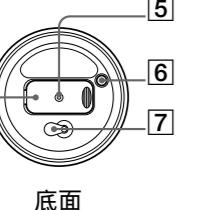
保証書(1)

## 各部のなまえ

マウス

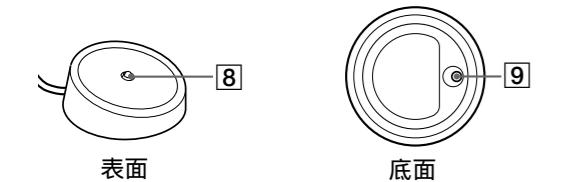


正面

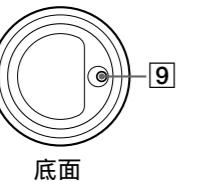


底面

受信ユニット



表面



底面

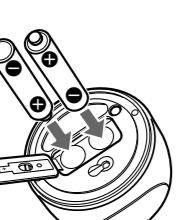
- ① 右ボタン部
- ② ホイールボタン
- ③ 左ボタン部
- ④ 電池フタ
- ⑤ ダイレクトパワー セーブスイッチ  
受信ユニットに置くと、  
ダイレクトパワーセーブ  
モードになります。
- ⑥ セットボタン  
受信ユニットとマウス  
を認識させるときに使  
います。
- ⑦ 光学センサー
- ⑧ RFモニターLED / 電池  
交換時期チェック  
モニターLED  
マウスからの電波を受  
け取ると、緑色に点灯しま  
す。電池が消耗すると、  
赤色に点灯します。
- ⑨ セットボタン  
マウスと受信ユニットを  
認識させるときに使  
います。

## 電池の入れかた

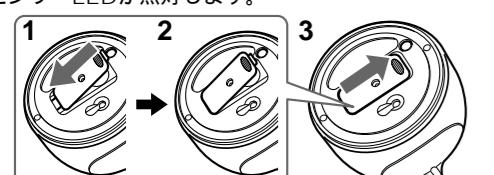
1 マウス本体底面にある電池ケースのフタを、矢印の方向にスライドさせ、開ける。



2 +と-の向きを確認し、  
単4形乾電池2本を入れる。



3 電池のフタを図のように閉じる。  
光学センサーLEDが点灯します。



### ご注意

- ・付属の乾電池はお試し用ですので、新しい乾電池より使用時間が短くなります。お使いになる際には、新しいアルカリ乾電池をおすすめします。
- ・航空機内での無線機器の使用は、航空機の運行に支障をきたす恐れがあるため禁止されています。マウスを機内に持ち運ぶ場合は、ボタンなどが押され、電波が発生する恐れがありますので、電池を抜いて携帯してください。

### 節電について

本マウスは、電池の消耗を抑えるためにダイレクトパワーセーブモード、スリープモードの2段階の節電モード機能を搭載しています。

#### ダイレクトパワーセーブモード\*

本マウスを受信ユニットに置くだけで、一部を残し、その他の回路の電源をOFFするため、電池の消耗を最小限に抑えられます。長時間マウスを使わないときに便利な機能です。

#### スリープモード

マウスをしばらく使わないと入力が感知されないため、自動的にスリープモードに入り電池の消耗を抑えます。

\* マウスをしばらく使わないときは、受信ユニットに置いてください。スリープモードより更に電池の消耗を抑えます。

### 電池の交換時期

電池が消耗していくと、受信ユニットのモニターLEDが赤色に点灯します。赤色に点灯したたら、新しいアルカリ乾電池と交換してください(コンピュータの電源がOFFのときは、モニターLEDは点灯しません)。

#### ご注意

電池が消耗し、モニターLEDが赤色に点灯している際にマウスを動かすと、モニターLEDがオレンジ色に点灯する場合があります。これは、電池の交換を知らせる赤色と、受信ユニットがマウスからの電波を受け取っていることを知らせる緑色が同時に点灯するため、故障ではありません。

電池を交換しても、モニターLEDが緑色に点灯しない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」を確認して、もう一度設定し直してください。

## ワイヤレスマウスを接続する

本マウスは、USB接続に対応したワイヤレスマウスです。デスクトップコンピュータでは、付属の接続変換アダプターを使ってPS/2端子にも接続することができます。

#### はじめに

現在ご使用中のマウスが接続されている場合は、そのマウスを取りはずしてください。

## Windowsをお使いの場合

### USB端子に接続する場合

本マウスは、コンピュータのUSB端子に接続するだけで認識され、使用できるようになります。

#### ご注意

コンピュータやOSの状況によっては、動作しなかったり、動作が不安定となったりすることがあります。その場合は、「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

- 1 受信ユニットをコンピュータまたはキーボードのUSB端子に接続する。
- 2 コンピュータを起動する。
- 3 自動的にコンピュータがマウスを認識し、使用できるようになります。

## ワイヤレスマウスを使うための設定

本マウスを使う前に、受信ユニットにマウスを認識させます。

#### ご注意

受信ユニットとマウスを10cm位に近づけて、認識させてください。(認識が終了するまでは、マウスを受信ユニットから離さないでください)

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続する。コンピュータがマウスを自動的に認識し、使用できるようになります。

#### ご注意

- ・一部のコンピュータでは、OSのディスクを要求される場合があります。その場合はコンピュータの指示に従って操作してください。
- ・コンピュータやOSの状況によっては、動作しなかったり、動作が不安定となったりすることがあります。その場合は、「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
- ・USB端子から受信ユニットを抜いたあとに、再び差し直す場合は、約5秒待ち、再び差し込んでください。(デバイスの認識がされない場合があります)

#### ヒント

本マウスは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取りはずしたりすることができます。

## PS/2端子に接続する場合

本マウスは、付属の接続変換アダプターを使ってデスクトップコンピュータのPS/2端子に受信ユニットを接続するだけで、マウスが認識され、使用できるようになります。(ノートブックコンピュータではPS/2接続はできません。)

1 コンピュータの電源をOFFにする。

2 付属のPS/2変換アダプターを使用し、受信ユニットをコンピュータのPS/2端子に接続する。

3 コンピュータを起動する。

コンピュータがマウスを自動的に認識し、使用できるようになります。

#### ご注意

マウスを受信ユニットに置いている間にダイレクトパワーセーブモードになっています。そのため、マウスを受信ユニットから外したあとは、ボタンなどが動くまでに約2秒かかります。左または右ボタン部を1度クリックすると、ダイレクトパワーセーブモードから復帰して、すぐに使えるようになります。(ボタン部を1度クリックすると入力が感知されます。2度3度と連続してクリックすると、誤動作の原因になりますのでご注意ください)

\* ダイレクトパワーセーブモードから復帰するまでの時間は、コンピュータの動作状態によって異なります。

#### ヒント

ボタン部をクリックするときなどは、下図のようにマウスを手の平全体で軽くささえると、マウスの動きが安定して使いやすくなります。

#### ヒント

ボインタの速度設定は、マウスプロパティを開いて行ってください。[スタート] [設定] [コントロールパネル] [マウス]をクリックしてください。

## Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1以降をお使いの場合は、受信ユニットをUSB端子に接続するだけで、マウスが認識され使用できるようになります。(Mac OS 9.xは1ボタン仕様)

1 受信ユニットをコンピュータまたはキーボードのUSB端子に接続する。

2 コンピュータを起動する。

自動的にコンピュータがマウスを認識し、使用できるようになります。

#### ご注意

電池が消耗し、モニターLEDが赤色に点灯している際にマウスを動かすと、モニターLEDがオレンジ色に点灯する場合があります。これは、電池の交換を知らせる赤色と、受信ユニットがマウスからの電波を受け取っていることを知らせる緑色が同時に点灯するため、故障ではありません。

電池を交換しても、モニターLEDが緑色に点灯しない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」を確認して、もう一度設定し直してください。

- 1 受信ユニットをコンピュータまたはキーボードのUSB端子に接続する。
- 2 コンピュータを起動する。
- 3 自動的にコンピュータがマウスを認識し、使用できるようになります。

## ワイヤレスマウスを使うための設定

本マウスを使う前に、受信ユニットにマウスを認識させます。

#### ご注意

受信ユニットとマウスを10cm位に近づけて、認識させてください。(認識が終了するまでは、マウスを受信ユニットから離さないでください)

1 受信ユニットの底面にあるセットボタンを押す。

モニターLEDが緑色にゆっくりと点滅します。

2 受信ユニットのモニターLEDが緑色にゆっくりと点滅している間に(約8秒間)、マウス底面にあるセットボタンを押す。

- ・一部のコンピュータでは、OSのディスクを要求される場合があります。その場合はコンピュータの指示に従って操作してください。
- ・コンピュータやOSの状況によっては、動作しなかったり、動作が不安定となったりすることがあります。その場合は、「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
- ・USB端子から受信ユニットを抜いたあとに、再び差し直す場合は、約5秒待ち、再び差し込んでください。(デバイスの認識がされない場合があります)

本マウスは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取りはずしたりすることができます。

## マウスと受信ユニットの使いかた

受信ユニットにマウスを認識させたら、本マウスを使います。

### マウスを使うときは

マウスを受信ユニットから取り外すと、ダイレクトパワーセーブモードから復帰し、使えるようになります。

#### ご注意

マウスを受信ユニットに置いている間にダイレクトパワーセーブモードになっています。そのため、マウスを受信ユニットから外したあとは、ボタンなどが動くまでに約2秒かかります。左または右ボタン部を1度クリックすると、ダイレクトパワーセーブモードから復帰して、すぐに使えるようになります。(ボタン部を1度クリックすると入力が感知されます。2度3度と連続してクリックすると、誤動作の原因になりますのでご注意ください)

#### ヒント

ボタン部をクリックするときなどは、下図のようにマウスを手の平全体で軽くささえると、マウスの動きが安定して使いやすくなります。

#### ヒント

受信ユニットをマウスに近づけてください。マウスからの電波を受信ユニットが受け取ると、モニターLEDが緑色に点灯します。

それでも動かない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう一度行ってください。

\* 読み取りセンサーが正しく動作していない。

光学読み取りセンサーの特質上、マウスを使う場所(ガラス、鏡など光沢のある面)によっては、センサーが誤動作し、正常に動かない場合があります。その場合は、マウスパッドを使うか、他の物をマウスの下に敷く、または場所を変えてお使いください。

\* USBコネクタが正しく接続されていない。

起動しているソフトウェアを終了してから、コネクタを接続し直してください。(USB端子から、マウスを含むUSB機器を抜いたあとに再び接続する場合は、約5秒間待つから接続してください。)

マウスを接続したままコンピュータの電源をシャットダウンして、約30秒後に再び起動してください。それでもマウスがまったく動作しない場合は、何でかこの操作を繰り返してください。

\* USB端子からの認識がされていない。

コンピュータに別のUSB端子がある場合は、別のUSB端子に接続してみてください。(USB端子から、マウスを含むUSB機器を抜いたあとに再び接続する場合は、約5秒間待つから接続してください。)

マウスを接続したままコンピュータの電源をシャットダウンして、約30秒後に再び起動してください。それでもマウスがまったく動作しない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう一度行ってください。

\* ハブやキーボード経由の接続をしている。

コンピュータに直接接続してみてください。

\* マウスからの電波を受信ユニットが受け取らない。

受信ユニットをマウスに近づけてください。マウスからの電波を受信ユニットが受け取ると、モニターLEDが緑色に点灯します。

それでも動かない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう一度行ってください。

\* 近くに他のワイヤレスマウスを使用している。

本マウスを、他のワイヤレスマウスから約1m以上距離をあけて、使用してください。

\* 近くに電磁波を出す電子機器がある(モニター、蛍光灯など)

受信ユニットおよびマウスを電子機器より離して使用してください。

\* 読み取りセンサーが正しく動作していない。

光学読み取りセンサーの特質上、マウスを使う場所(ガラス、鏡など光沢のある面)によっては、センサーが誤動作し、正常に動かない場合があります。その場合は、マウスパッドを使うか、他の物をマウスの下に敷く、または場所を変えて使用してください。

\* マウスのボタン部を押しても反応しない。